



R C F 型荷重変換器

取扱説明書 F 3

当社の荷重変換器を御買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。ご使用前に必ず本書を御熟読頂き正しく御活用頂きますよう御願い申し上げます。

●ケーブルの接続方法

本器のケーブル接続仕様を<図1>に示します。

接続を間違えますと初期平衡が取れなかったり荷重を負荷した場合の出力電圧に誤差を生じますので御注意下さい。

●印加電圧

許容印加電圧 (AC/DC)	2 0 V
推奨印加電圧 (AC/DC)	1 2 V

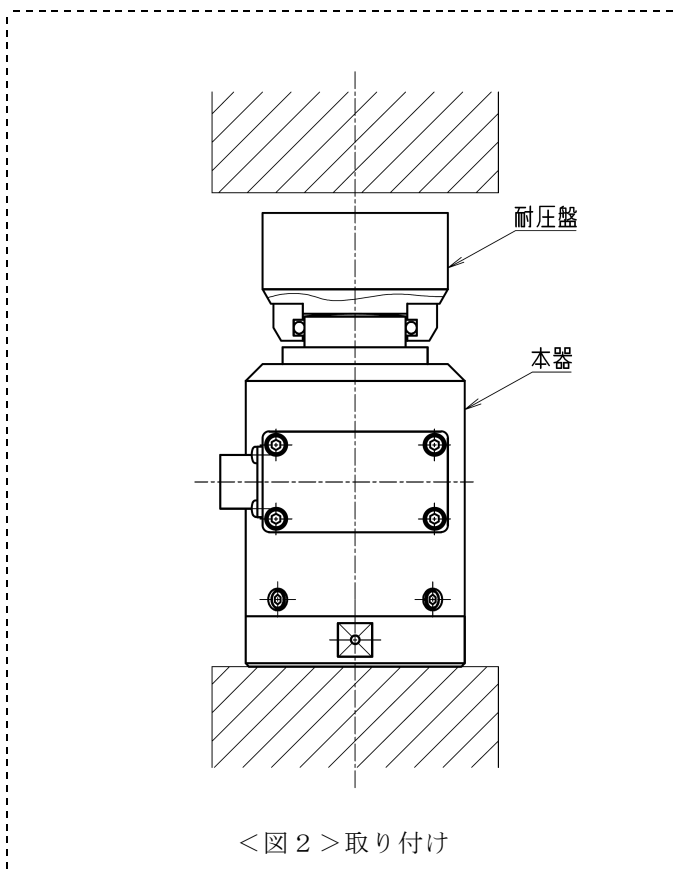
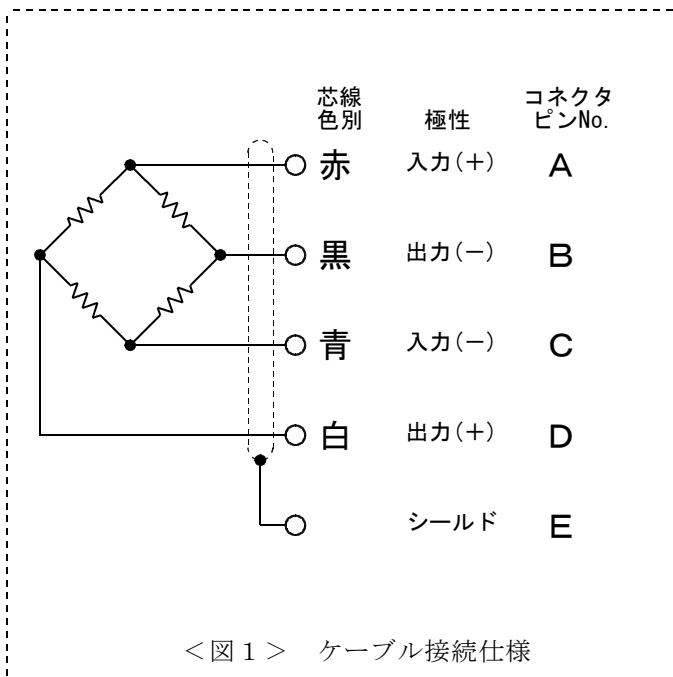
< 表 1 >

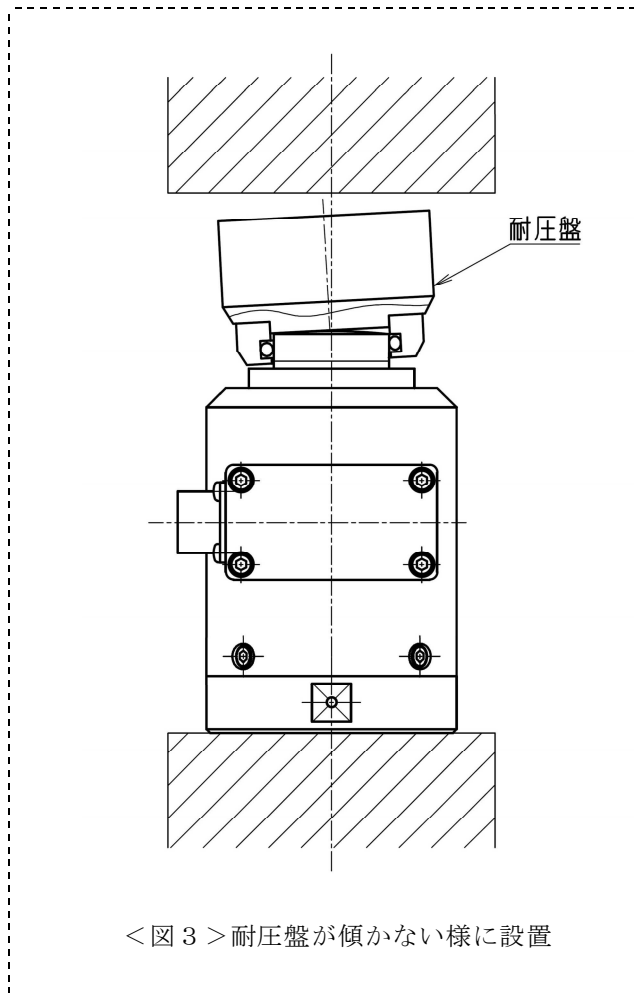
●取付方法と取り付け上の注意

本器の性能を発揮させるために以下の点に留意して取り付けを行ってください。

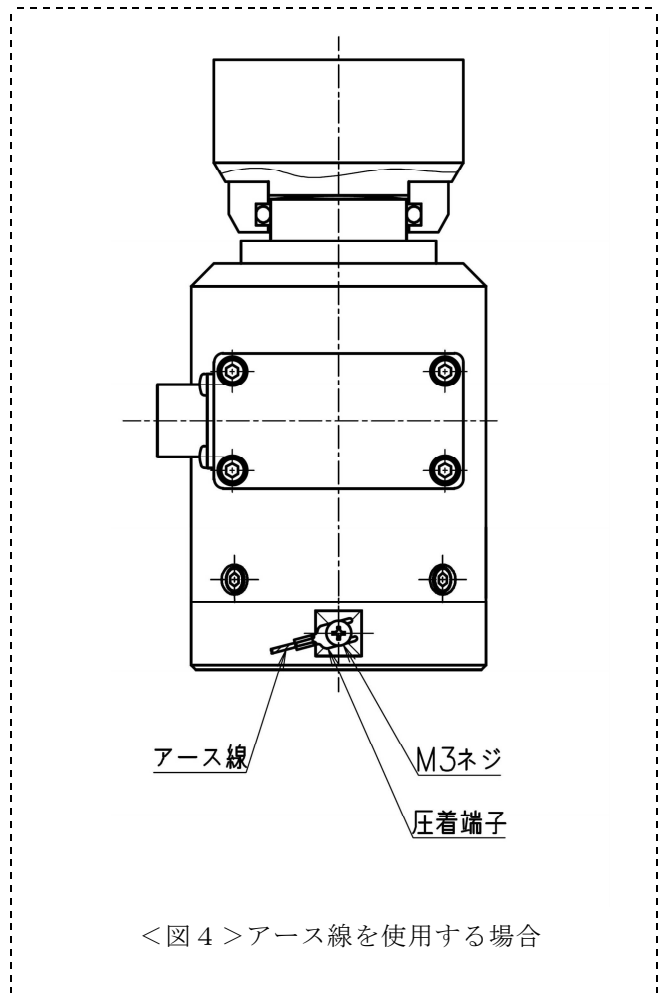
- ①本器は圧縮荷重専用の荷重変換器です。
- ②本器を設置する所は定格荷重を受けるのに十分な強度のある事が必要です。
定格荷重が加えられたとき本器が傾いたりしないことをご確認ください。
- ③本器の軸方向と加える力の方向を一致させて下さい。
- ④加える力は本器の中心を通るように設置して下さい。
- ⑤本器耐圧盤は<図3>の様に傾かない状態で設置して下さい。
- ⑥使用環境によりアース線を接地する場合は<図4>を参考に行ってください。
- ⑦本器の接続ラインは誤動作を防止するため、ノイズの多いラインやACラインからの影響を受けないようにして下さい。

※1. 治具取付手順など、詳しい説明が必要な方は弊社営業所まで御連絡ください。





< 図 3 > 耐圧盤が傾かない様に設置



< 図 4 > アース線を使用する場合

●DS-9000 指示計への接続

- ①DS-9000は必ず安定した場所に設置して下さい。
- ②リアパネルコネクタへロードセル側コネクタを接続させます。
- ③電源SWを入れます。
- ④電源起動後、必ず30分以上のウォームアップを行った上で計測を開始して下さい。

※ 2. 指示計の操作は取扱説明書内容を正しくご理解いただいた上で、ご使用して下さいますようお願いいたします。

●使用環境と使用上の注意

1. 本器は防水構造ではありません。湿気や水の掛かる場所で使用しないで下さい。
2. ケーブルは強く引っ張ったり、曲げたりしますと、断線する場合がありますので注意して下さい。
3. 温度補償範囲は
0 ～ 40℃ です。

●保守について

本器の品質を維持されるために、年に一回の定期点検・校正(共に有償)を御受けされる事を御奨めします。

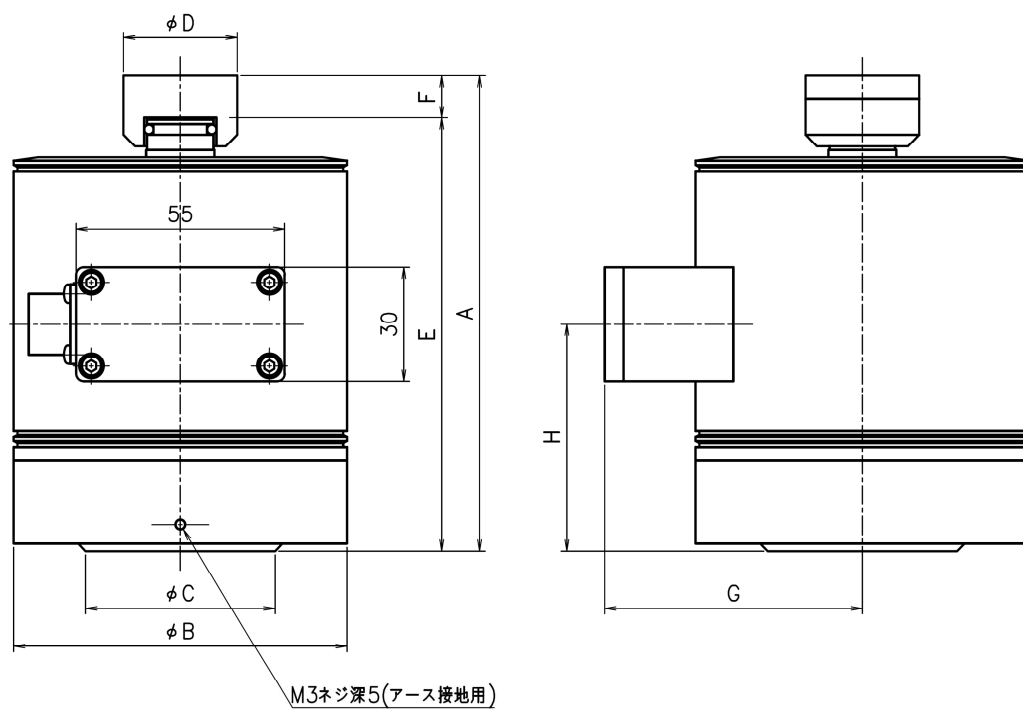
●保証について

本器は御買い上げ後、一年間の品質保証を行っています。正規の御使用(保証期間中)におきまして万一故障・欠陥等が発生しました場合は無償にて修理を致します。その場合には弊社営業所または御購入頂きました販売店まで御連絡を頂き、故障状況を御説明なさった上で現品を御送付して下さい。

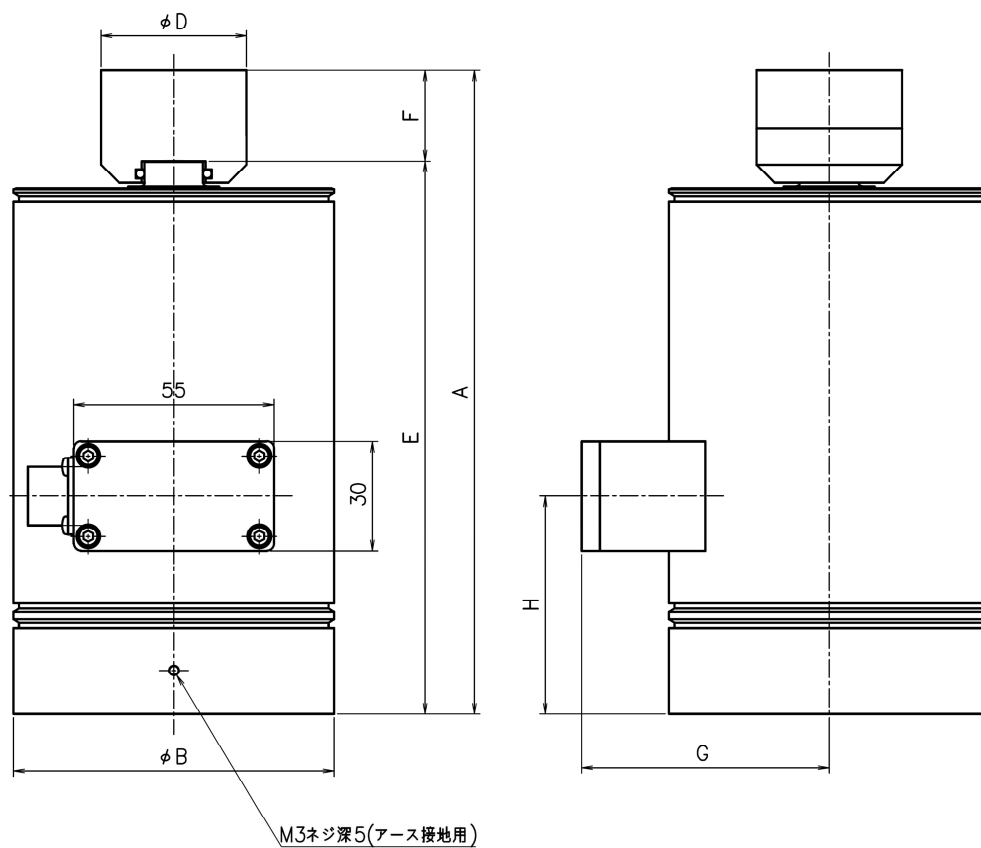
但し、お客様での誤使用・分解改造等の正規の御使用以外での場合は原則的に有償とさせていただきます。また、許容範囲以上の負荷(荷重・モーメント)や電圧がかかり本来の機能が復元しない場合は修理不能の場合もございますので予め御承知おき下さい。

● 寸法図

500 N ~ 5 kN

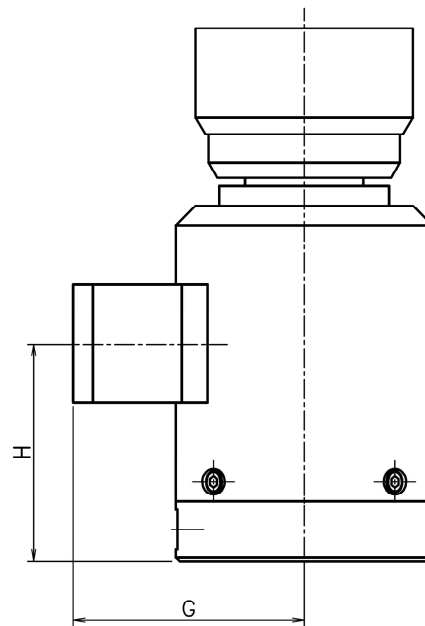
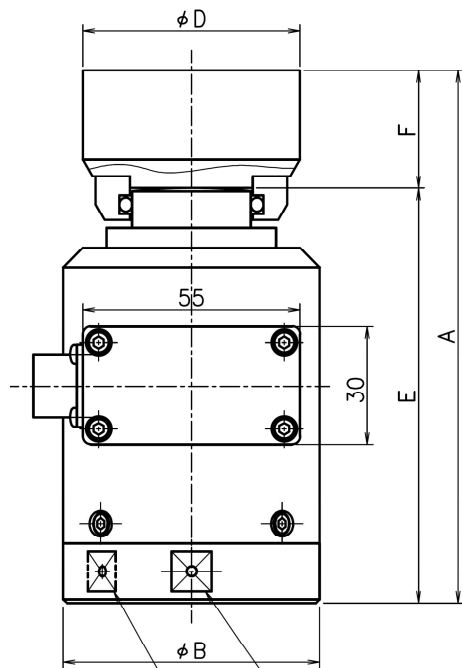


10, 20 kN



単位 : mm

50 kN ~ 10 MN



M3ネジ深5(アース接地用)
(50 kN ~ 500 kN)
M3ネジ深5(アース接地用)
(1 MN ~ 10 MN)

単位：mm

● 寸法表 (単位：mm)

型式名	定格容量	A	φ B	φ C	φ D	E	F	G	H
RCF - 500N	500 N	125.5	88	50	30	114.5	11	68	60
RCF - 1KN	1 kN	125.5	88	50	30	114.5	11	68	60
RCF - 2KN	2 kN	125.5	88	50	30	114.5	11	68	60
RCF - 5KN	5 kN	125.5	88	50	30	114.5	11	68	60
RCF - 10KN	10 kN	177	88	—	40	152	25	68	60
RCF - 20KN	20 kN	177	88	—	40	152	25	68	60
RCF - 50KN	50 kN	125	60	—	50	100	25	56	50
RCF -100KN	100 kN	125	60	—	50	100	25	56	50
RCF -200KN	200 kN	135	65	—	55	105	30	59	55
RCF -500KN	500 kN	200	90	—	85	155	45	70	80
RCF - 1MN	1 MN	255	120	—	120	190	65	87	100
RCF - 2MN	2 MN	325	165	—	165	245	80	112	110
RCF - 3MN	3 MN	390	190	—	200	290	100	125	130
RCF - 5MN	5 MN	490	230	—	255	360	130	146	150
RCF - 10MN	10 MN	690	325	—	365	500	190	194	180

仕様

TYPE	R C F型荷重変換器
定格容量	5 0 0 N ~ 1 0 MN
許容過負荷	1 2 0 % (定格容量に対し)
限界過負荷	1 5 0 % (定格容量に対し)
定格出力	2 . 0 mV / V ± 1 %
直線性	0 . 0 5 % R . O .
ヒステリシス	0 . 0 5 % R . O .
繰り返し性	0 . 0 3 % R . O .
許容印加電圧	2 0 V , 推奨 1 2 V
入力抵抗	3 5 0 Ω
出力抵抗	3 5 0 Ω
温度補償範囲	0 ~ 4 0 °C
許容温度範囲	- 1 0 ~ 6 0 °C
零点の温度特性	0 . 0 1 % R . O . / °C
出力の温度特性	0 . 0 1 % / °C
先端コネクタ	P R C 0 3 - 2 1 A 1 0 - 7 F
その他	附属ケーブル L - A - 5 (両端のコネクタは P R C 0 3 - 1 2 A 1 0 - 7 M)

株式会社 昭和測器

本 社	121-0812	東京都足立区西保木間1-17-16	TEL 03-3850-5431	FAX 03-3850-5436
工 場	121-0064	東京都足立区保木間5-24-27	TEL 03-3858-3241	FAX 03-3859-1240
京都営業所	602-8031	京都府京都市上京区東裏辻町403-3	TEL 075-256-8757	FAX 075-256-8758

2018年 8月 第1版 発行
2022年 6月 第3版 発行